

顧問
メッセージ



平田高校JRC部顧問 片岡 初美先生

生徒たちが自主的にやりたいと思うことにすべて任せています。私たち教員はあくまでもバックアップ役として「気づき、考え、実行する」生徒たちを見守り、一緒に防災や地域貢献について応援していきたいと思っています。

とっても簡単！
作ってみよう！ タオルケットや毛布を使ったガウン

体温保持はもちろん、手足が自由に動かせるので機能性バッチリ！！

①着物を着付ける要領で、下半身を包み、紐等で止める。



②上半身を覆い、襟元と袖口を整える。



仕上がり
(後ろ姿)

出典：日本赤十字社
災害時高齢者生活支援講習ハンドブック
平成29年5月発行



ガレキの上を新聞スリッパの有無で歩き比べ



県内初！高校生が呼んだ起震車で「体験型」防災啓発



全国ボランティアアワード2018で入賞したチーム
来場者2万人にも大好評だった「体験型」イベント

平田高校JRC部が防災啓発を『主催』するきっかけは6年前の東日本大震災。もし島根で災害が発生したら？高校生の自分たちに何が出来るだろう？と考えた当時の部員が「なにもできないのは大変」ということに気づき、ただ単に伝えるのではなく高校生が私たちが伝えることが有効だと考え全校生徒へ伝えよう！から地域住民へ！と広がっていききました。

最近では、2018年8月に東京国際フォーラムで開催された公益財団法人風になつライオン基金主催「全国ボランティアアワード2018」で「第3位」入賞を果たし、世の中にあってほしいボランティアとして認められました。

生徒たちは地震や台風などの災害が少ない平田周辺地域の人々の防災意識を少

しても高めようと、自分たちが『主催』する「体験型」の行事・イベントにこだわります。2017年には災害時対応の啓発イベント「熊本とつながる4・16」(会場：平田文化館)を地元有志のボランティアチームと共同主催。高校生による災害時対応イベントの主催。高校生による災害時対応イベントの主催。そして起震車(地震を体験する車)体験のイベントを企画し実施したのは、ともに県内でも先進的な取り組みです。

体験型の防災イベントを自ら「主催」する
平田高校JRC部の取り組み



現在平田高校JRC部の取り組みは、地域からの評判で、メディアからも注目され、全国的にも高く評価されるようになっていきました。

現在JRC部長を務める名原朋花さん(2年生)は先輩たちの実績を受け継ぎつつ、今後はインターネットを利用した防災の「体験型」の情報発信など新しいことにも挑戦していきたいです」と今後の抱負を語ってくれました。

今や、地域のみならず、県内のボランティア団体やコミュニティセンターから「一緒に活動してほしい、企画を考えてほしい」と声が多く、今後多くの人々の命を守る活動が広がっていくことが期待されます。



災害への備えに関するイベントを自ら主催するに至った活動の広がり

2018年10月、平田高校の最寄り駅「雲州平田駅前」の平田本町商店街を舞台にイベントが開催されました。

雲州平田まちあそび「人生ゲーム」は、平田本町商店街を舞台にした体験型の「人生ゲーム」。普通であれば机の上で遊びますが、体験型は新しい出会い、ふれあい、縁を大切にしなが商店街を回ります。

実はこのイベントに全面協力したのは平田高校。さらにJRC部も「災害が起きたら？」というブースを出展しました！

平田高校JRC部はこれまでの防災啓発活動の実績を活かし、ガレキから足を守る「新聞紙スリッパ」や即席で作れる「ふるしきリユック」、低体温症から身体を守る「タオルケットガウン」など、部員たちの指導で「災害時に自らの命を守る

ことができる防災グッズづくりを体験してもらいました。初めて「新聞紙スリッパ」を作った小学3年生の男の子は「簡単に作れました。家に帰ってお母さんにも教えてあげます」と嬉しそう。また、子どもの頃に阪神淡路大震災で被災した地元住民の女性は「災害が少ないこの地域に住む人々に防災の大切さを教えるいい試みだと思います」と話していました。

地域住民が災害時に役立つ
How toを「体験」！
平田本町商店街



地域の皆さんにもっと防災について
知ってほしい
「体験型」イベントを主催し
地域貢献！
島根県立平田高等学校JRC部

青少年赤十字の態度目標「気づき、考え、実行する」を合言葉に地域に向けたさまざまな「体験型」防災イベントを主催する島根県立平田高等学校(以下、平田高校)JRC部の活動を紹介します。

島根県立平田高校

「人生ゲーム」とは、株式会社タカラトミーから1968年に発売され、現在も親しまれているロングセラー盤ゲーム。今回は、ゲームを飛び出し、コマに見立てた商店街を巡る「平田商店街体験版人生ゲーム」を開催！！



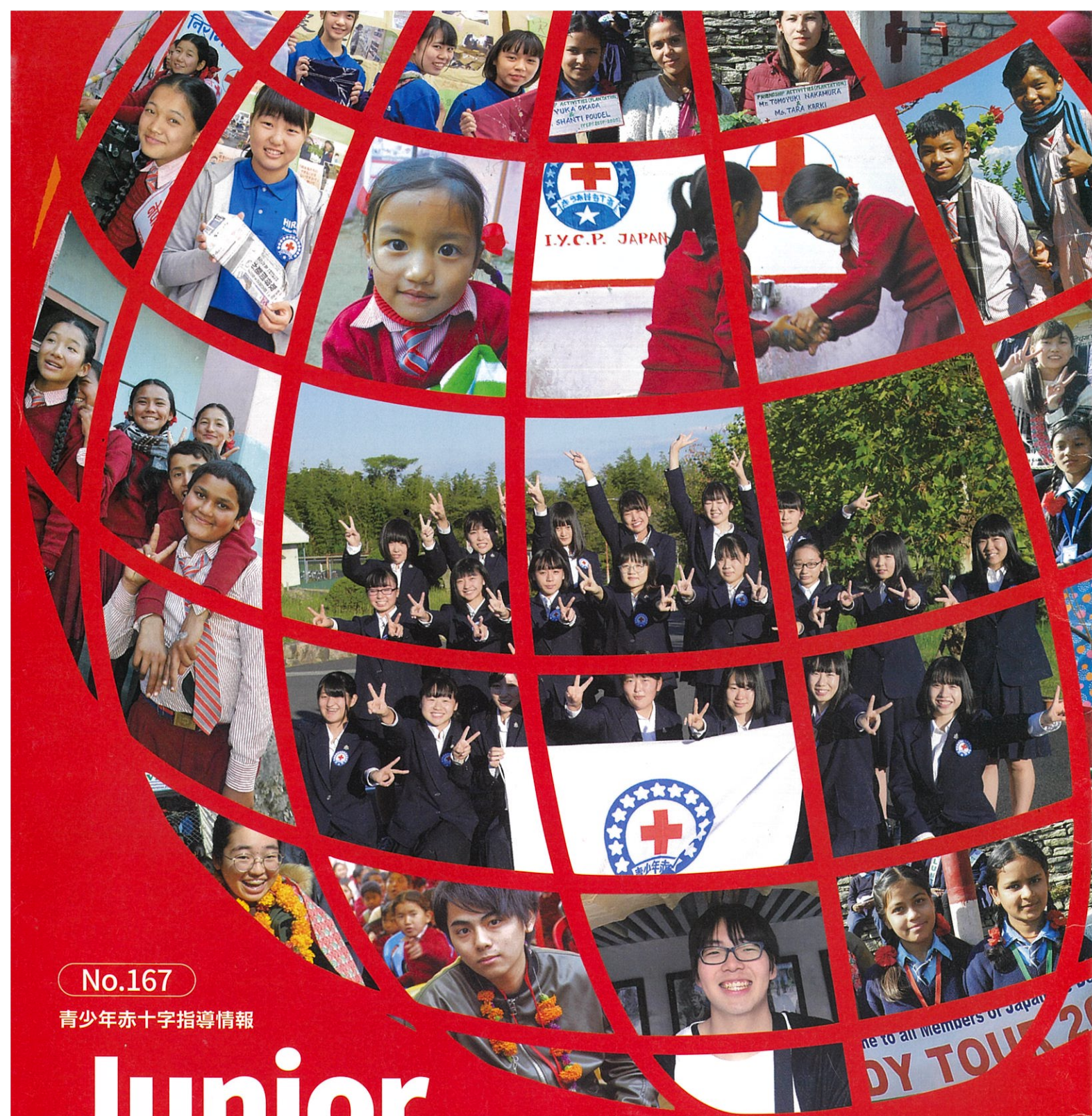
低体温症から身体を守り、手足も動かせる「タオルケットガウン」



体験型防災啓発活動を通して地域住民との交流が広がる



防災啓発の「体験型」ブースで活躍するJRC部員



No.167

青少年赤十字指導情報

Junior Red Cross Information 2019

特集 ① 支援事業 & スタディーツアー

青少年赤十字海外支援事業
2年目報告

ネパール スタディーツアー
実施報告



人間を救うのは、人間だ。



指導情報 2019 のアンケートにご協力ください！
<https://questant.jp/q/YP6PHTTD>

この URL または QR コード から アンケート ページ に
アクセス できますので、ぜひ ご協力 ください。

2019 年 8 月 31 日 まで に ご回答 を お願い します。

Junior Red Cross Information 2018

青少年赤十字指導情報 No.167

日本赤十字社 東京都港区芝大門1丁目1番3号
TEL. 03-3437-7083 FAX. 03-3432-5507 <http://www.jrc.or.jp/>